

第7回 阿寒丹頂の里千年祭 3月3日(日)

釧路新聞
平成31年(2019年)3月5日(火曜日)



結婚証明書を手笑顔の経塚さん家族(中央)

今年、式を挙げたのは釧路市在住の経塚賢直さんと愛さんの30代夫婦。2013年5月15日に入籍して3年、結婚式には長男経希ちゃん(5)も参加した。丹頂結婚式を偶然知り、式を挙げていなかったため長い

機会だと応募を決めた。式は多くのタンチョウが羽を休めるビオトープで行われ、吉田会長が「タンチョウのように千年続く愛を誓ってほしい」とあいさつ。立会人として蝦名大由副路市長が「互いを思いながら、家族を守ってほしい」と祝辞を述べ、千年の愛を誓う結婚証明書を授与した。賢直さんは「家族仲良く頑張ります」と応えていた。

今年、式を挙げたのは釧路市在住の経塚賢直さんと愛さんの30代夫婦。2013年5月15日に入籍して3年、結婚式には長男経希ちゃん(5)も参加した。丹頂結婚式を偶然知り、式を挙げていなかったため長い

「丹頂」のように末永く 阿寒でイベント 経塚さんが結婚式

阿寒丹頂の里プロジェクト委員会(吉田守人会長)が地域振興を目的に毎年主催しているイベント「第8回阿寒丹頂の里千年祭」が3日、阿寒国際ツルセンターで開かれ、タンチョウや来場者が見守る中、丹頂結婚式が執り行われた。

阿寒丹頂の里プロジェクト委員会(吉田守人会長)が地域振興を目的に毎年主催しているイベント「第8回阿寒丹頂の里千年祭」が3日、阿寒国際ツルセンターで開かれ、タンチョウや来場者が見守る中、丹頂結婚式が執り行われた。

阿寒丹頂の里プロジェクト委員会(吉田守人会長)が地域振興を目的に毎年主催しているイベント「第8回阿寒丹頂の里千年祭」が3日、阿寒国際ツルセンターで開かれ、タンチョウや来場者が見守る中、丹頂結婚式が執り行われた。

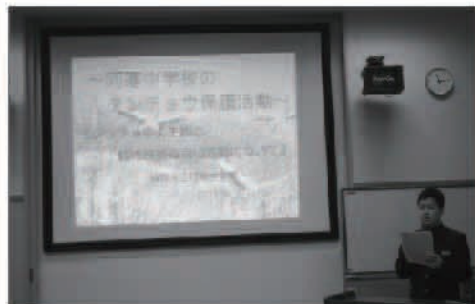


結婚証明書とブレスレット

<タンチョウ保護活動発表会>



阿寒小学校の発表



阿寒中学校の発表

鶴だより

釧路市動物園 ふれあい主幹
松本 文雄



阿寒の給餌場周辺では

3月に入り、寒さも緩んできました。給餌場に集まるタンチョウも少しずつ減って来ています。繁殖地に移動を始めているのでしょうか。

環境省が阿寒と鶴居の3大給餌場で始めた給餌量削減事業も4年目になり、給餌場に撒かれるコーンは減っています。そのせいでしょうか、阿寒の給餌場に集まるツルは、今年は150~180羽程度でした。一昨年などは、300羽近く集まり、空腹のためか、給餌場に座り込むツルを多数見ることもあったのですが、今年はそのような光景もあまり見られませんでした(1~2羽のツルは座り込んでいることはありましたが)。阿寒の給餌場周辺で越冬するツルは少なくなっているのではないかと思います。給餌量削減事業は、生息数の増えたタンチョウの越冬地を分散させるために行っていますので、その意味では良い結果なのかもしれません。ただし、その分散したツルがどこにいったかが問題です。自然河川などで食べ物が取ればよいのですが、厳冬期に十分な食べ物が確保できる場所はありません。現実には、農場周辺で牛の餌のおこぼれを食べたり、堆肥山でミミズなどを食べたりしているようです。



2月のビオトープ

釧路市でも給餌場から離れた農地や農家周辺で多く見かけるようになりました。越冬地の分散まではまだまだ道のりが遠そうです。また、自然の中で食べ物を見つけられるような河川環境などの改善も必要でしょう。

一方、給餌場にツルが少なくなるのは、ツルセンターとしては問題です。昨年からは始めたビオトープの池への通水試験によって、ビオトープに水場が復活しました。そのせいでしょうか、撒かれたトウモロコシがなくなっても、ビオトープに多くのツルが残るようになりました。水辺の中をつついてみたり、雪が融けた地面をつついてみたり、暖かくなってきた今頃はダンスをするツルも多く見られます。この新しい風景は観光客の皆様にも好評なようです。今後はさらに改善を進めて、自然に近いタンチョウの姿を見せられるようにしていきたいと思ひます。

<3月2日(土) 第5回 鶴酒たしなむ会 会場 赤いベレー>



19道府県より26社40本の鶴酒をたしなみました。吉田会長の挨拶の後、楽しく美味しくいただきました。